



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 127

平成19年6月4日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimujenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

総会特別講演に虎ノ門病院 小松秀樹先生を
6月24日の総会特別講演を虎ノ門病院泌尿器科部長小松秀樹先生に依頼することが決まった。小松先生は『慈恵医大青戸病院事件 - 医療の構造と実践的論旨』(日本経済評論社) その続編ともいえる『医療崩壊 「立ち去り型サボタージュ」とは何か』(朝日新聞出版社)の著者として知られている。時期的に有益な講演であるので是非とも多くの人に聞いて貰いたいと願っている。

平成19年度 総会予告

- 日時:平成19年6月24日(日)午後1時~午後5時
場所:サピアタワー6階605 (JR東京駅横)
- 第1部 講演 (午後1時~2時) 小松秀樹先生
『医療事故調査制度の設立にむけて』
- 第2部 代議員会ならびに総会(午後2時~4時)
1)報告 平成18年度庶務報告及び事業報告
2)議事(承認を求める件)
第1号議案 平成18年度収入・支出決算について
第2号議案 平成19年度事業計画(案)について
第3号議案 平成19年度収入・支出予算(案)について
第4号議案 定款及び定款施行細則の変更について
第5号議案 顧問の委嘱について
3)その他
- 第3部 懇親会(午後4時~5時)

日医としてはオンラインの義務化は時期尚早

日医総研主任研究員 秋山 宏氏

5月27日開催の第1回全理事会の前に行われた講演「オンラインの請求義務化の問題点について」で秋山宏氏は、「支払基金と保険者の間にはメリットがあるが、医療機関側にとってはメリットが少ないと思う。日医の立場は、完全義務化は無理と考えている」と述べ、オンライン請求義務化に関する日医見解を解説し、「拙速なオンライン請求の義務化は地域医療の崩壊をもたらしかねず、導入メリットがある医療機関からオンライン請求に参加するのが望ましい。」とした。

後期高齢者は耳痛で耳鼻科に受診できない？

平成20年度から後期高齢者医療制度が創設されることになったが、社会保障審議会後期高齢者医療の在り方に関する特別部会の基本的考え方(案)で「通院医療についても、在宅医療と同様に後期高齢者を総合的に診る医師により提供されることが今後重要とされる」とした。

即ち、75才以上では、例え耳痛があっても先ず、総合的に診る医師の診察を受け、そこから紹介されて初めて耳鼻科医の診察が受けられるという事態になりかねず、国民皆保険制度の根幹であるフリーアクセスが損なわれることが危惧され、今後充分に事態を見守る必要があり、他科との協調も必要であると考えられる。

早期オンライン化に金銭的な誘因を

政府の規制改革会議(議長=草刈隆郎・日本郵船会長)は4月20日、レセプトのオンライン化を確実に推進するため、原則義務化となる2011年度を待たず早期にオンライン化した医療機関に金銭的なインセンティブを付与すべきとする政策提言を打ち出した。審査支払い機関にレセプトを提出してから、実際に診療報酬が支払われる期間を短縮することも盛り込んでいる。規制改革会議は、これらの具体策を5月中に予定する第1次答申へ盛り込むため、今後、厚生労働省など関係省庁との調整に入る。

日耳鼻医学会Q & Aを作成 5月27日全理事会
日耳鼻医学会の設立時の事情やその後の歴史、フォーラム、公立学校レセプト調査などに対する会員の疑問に対しQ & A式のリーフレット作成と、そのホームページ上での公開が5月27日の全理事会で決まった。また「第32回岐阜フォーラム」について、計画は順調に進んでいることと、案内冊子は6月中に発送できるとの報告があった。その他「平成18年度収支決算について」「医療崩壊に直面して他科との連携について」「後期高齢者医療制度の問題点について」などが協議された。
(Q & Aは5月31日よりホームページ上で公開)

診療科名 4割強廃止 アレルギー科など

厚労省は医療機関の診療科名を4割強廃止し、20程度に絞り込む方針を固めた。専門性が高く分かりにくい科名をなくし、一般の患者がイメージしやすい科に名称変更させる。年内にも医療法の関連政省令を改正したい考え。早ければ2008年にも施行する。

また開業医が一人の診療所では、原則として医師1名につき二つの診療科までしか表記出来ないようにする。厚労省が「医師が一人なのに四つも五つも専門分野があるのはおかしい」と考えているため。軽度であればどのような病気でも基本的に対応できる医師については、新たに総合科を新設して認可する方針。

標榜診療科の見直し「反対」で一致

厚生労働省の標榜診療科の表記方法の見直し案に対し、日本外科学会など外科関連学会は5月25日までに、原則として反対する方針を申し合わせた。これに関連し、日本医学会は学会内に設置した臨床部会で協議し、検討結果を対案として厚労省に示すことを決めるなど、周囲の環境が一気に慌ただしくなってきた。医療法は標榜診療科の見直しに当たり、学術団体の意見を聴くことを定めているため、合意形成に向けた手続きの在り方も論点になりそうだ。

「GIFU FORUM 2007 in 飛騨高山」

日本ど真ん中フォーラム
耳鼻咽喉科医の新生を目指して!

日時:平成19年8月25日(土)26日(日)
会場:飛騨・世界生活文化センター
担当:岐阜県耳鼻咽喉科医学会

<http://www.gent.gifu.med.or.jp/GifuForum/index.html>

プロスタグランジンロートECNを主成分とするアレルギー性鼻炎治療薬
アレルギー性鼻炎治療薬
バイナス 錠 50mg 錠 75mg
Baynas®
日本新薬株式会社
岐阜県岐阜市
〒500-8501 岐阜県岐阜市南大井1-1-1
電話:057-231-1111
FAX:057-231-1112
E-mail:info@baynas.co.jp
www.baynas.co.jp

製造販売元
バイエル薬品株式会社
大阪市淀川区宮島3-5-35
(2006年7月現在)